

## 2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	〔国語〕【国語演習】	3 年	1 単位	教科書		副教材等		履修対象・ 使用教室 等	3 年 3 組選抜者 特別 3		
教科・ 科目 の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図る。 （２）目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させる。 （３）相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させる。 言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付ける。 <div>(4)</div>										
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。										
評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト／確認テスト		5 回／随時			20%		70%		10%	
	学習プリント		授業時			30%		40%		30%	
	新聞コラム		授業時								
	〔観点別配分％〕		（３観点の比重を％で示しています）								
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名		配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度		
4 5	論理的な文章を書こう		6	・意味のわかりにくい文について、なぜわかりにくくなっているのかを理解する。 ・意味のわかりにくい文をわかりやすく修正する。			学習プリント	◎	○		
							単元テスト	○	◎		
							新聞コラム	○		◎	
6 7	敬語表現		6	・目的や場に応じて、適切な言葉遣いで話すことの重要性を理解する。 ・正しい敬語について理解し、適切な敬語を用いて話す。			学習プリント	◎	○		
							単元テスト	○	◎		
							新聞コラム	○		◎	
8 9	「自分」を表現しよう		6	・自己分析を行い、第三者の意見も踏まえて、客観的に「自分」を把握する。 ・志望理由書・履歴書の作成、模擬面接などで、相手に伝わるように「自分」を表現する。			学習プリント	◎	○		
							単元テスト	○	◎		
							新聞コラム	○		◎	
10 11	「自分」を表現しよう		6	・自己分析を行い、第三者の意見も踏まえて、客観的に「自分」を把握する。 ・志望理由書・履歴書の作成、模擬面接などで、相手に伝わるように「自分」を表現する。			学習プリント	◎	○		
							単元テスト	○	◎		
							新聞コラム	○		◎	
12 1	分かりやすく説明しよう		6	・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を身に付ける。 ・学習を通じて得られた「分かりやすく説明する方法」を、日常生活においても状況に応じて使えるようにする。			学習プリント	◎	○		
							単元テスト	○	◎		
							新聞コラム	○		◎	
学習の アドバイス	1 常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、授業の時は 1 時間つきに最低 1 回、自分の考えを積極的に表現することが大切です。 2 教科書の教材本文のほか、新聞コラムの書き写し・要約を行い、「主体的に学習に取り組む態度」として評価します。 3 担当者の説明や指示をよく聞き、まじめに取り組んでください。 ＊授業では、ワークシート（プリント）を使います。各自、「A 4 2 ペアファイル」を必ず用意してください。										